

科目名	病態運動学			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 障害を有した患者様の姿勢分析、動作分析についての知識を学習し、予測できるimpairmentを抽出する。								
〔授業全体の内容の概要〕 病態の講義と障害をもつ患者様の映像を分析しレポートを作成する。								
〔講師の実務経験〕 (医) マックスシール 異病院にて7年間理学療法士として勤務。急性期、回復期、訪問リハまで経験している。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕 impairmentを追求し解釈する。								
回数	講義内容							
1	股関節疾患の病態理解							
2	股関節疾患の病態理解							
3	ケースの検討							
4	ケースの検討							
5	レポート作成							
6	レポート作成							
7	膝関節疾患の病態理解							
8	膝関節疾患の病態理解							
9	ケースの検討							
10	ケースの検討							
11	レポート作成							
12	レポート作成							
13	肩関節疾患の病態理解							
14	肩関節疾患の病態理解							
15	脊柱疾患の病態理解							
16	脊柱疾患の病態理解							
17	オリエンテーション							
18	CVAの寝返り							
19	CVAの立ち上がり							
20	CVAの立ち上がり							
21	CVAの歩行							
22	CVAの歩行							
23	失調の立ち上がり							
24	失調の立ち上がり							
25	失調の歩行							
26	失調の歩行							
27	PDの寝返り・起き上がり							
28	PDの寝返り・起き上がり							
29	PDの立ち上がり・歩行							
30	PDの立ち上がり・歩行							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
定期試験にて評価する。								